

コンクリートの日 in Hokkaido
「自然環境とコンクリート性能評価」に関するセミナー

主催：日本コンクリート工学協会北海道支部

後援：独立行政法人北海道開発土木研究所

土木学会北海道支部

北海道土木技術会コンクリート研究委員会

日本コンクリート工学協会「自然環境下のコンクリート性能評価研究委員会」(委員長：佐伯昇 北海道大学教授)では、コンクリートの耐久性の向上およびその評価方法の確立を目的として、全国的なコンクリートの暴露試験、気象環境解析を行い、寒冷気象環境、塩分・海洋環境、土壌環境、アルカリ骨材反応および複合劣化などのコンクリート性能に関する問題について検討を行ってまいりました。委員会では、本年6月に東京でシンポジウムを開催し、委員会報告と寒冷、塩分・海洋、土壌環境など各種の自然環境下におけるコンクリート性能評価に関する一般講演と討議を行いました。

この度、日本コンクリート工学協会北海道支部の「コンクリートの日 in Hokkaido」の企画のひとつとして、北海道地区のJCI会員を中心とした皆様にも標記委員会の成果を紹介するとともに、特に寒冷地のコンクリート性能に関する一般論文の講演を行う「自然環境とコンクリート性能評価」に関するセミナーを開催することとなりました。皆様方の多数のご参加をお待ちしております。

1. 日時：2005年9月30日(金) 13:00~16:45

2. 場所：北海道開発土木研究所講堂

札幌市豊平区平岸1条3丁目

3. プログラム：

13:00~13:15 委員長挨拶・委員会の概要 佐伯 昇(北海道大学名誉教授)

13:15~15:15 委員会報告

1) 寒冷気象環境WG・気象解析WG

濱 幸雄(室蘭工業大学)

2) 塩分環境WG・土壌環境WG

志村和紀(北海道大学)

3) アル骨・複合劣化WG

田口史雄(北海道開発土木研究所)

4) 新規暴露WG

吉野利幸(北海道立北方建築総合研究所)

15:30~16:45 一般論文講演

1) 10数年経過した寒冷地コンクリート防波堤での表面剥離調査

遠藤裕丈(北海道開発土木研究所)

2) 凍結融解試験法(CIF法、ASTM法)の違いによる耐凍害性の評価

佐伯 昇(北海道大学名誉教授)

3) 実態調査に基づく鉄道コンクリート構造物の塩化物イオン浸透に関する研究

川村 力 (JR 北海道)

4) 寒冷地海岸コンクリート構造物の塩化物イオン量調査

小尾 稔 (北海道開発土木研究所)

5) 高炉セメントを用いた吹付けコンクリートの適用性

吉田 行 (北海道開発土木研究所)

4. 参加費：5000 円 (資料代含む)

[自然環境とコンクリート性能評価に関するシンポジウム 委員会報告書・論文集
(一般頒布価格 8400 円) を資料として配布します]

5. 申込み方法：参加申込書に氏名、勤務先、同住所、連絡先などを明記の上、FAX にてお申込みください。

参加費は当日会場にて受け付けいたします。

6. 申込み期限：9 月 26 日(月)

定員 (80 名) になり次第締め切りさせていただきますので、お早めにお申し込みください。

7. 申込み先：札幌市白石区東札幌 1 条 4 丁目 6-10

財団法人 北海道コンクリート技術センター 内

(社) 日本コンクリート工学協会北海道支部

「自然環境セミナー」係 (担当：今井)

TEL/FAX：011-832-6812

E-mail：jci-ho@axel.ocn.ne.jp

コンクリートの日 in Hokkaido

「自然環境とコンクリート性能評価」に関するセミナー

参加申込書

氏名			
勤務先			
同上所在地			
電話番号		FAX 番号	
E-mail			